

世界をリードする資質

国際社会における次世代のリーダーは、語学力はもちろん、コミュニケーション能力、国際感覚、論理的思考力、討論力、自律性などが求められます。慶應義塾大学理工学部には、単に語学を学ぶだけでなく、発表や討論、実地研修などを通して、価値観や文化を理解するプログラムが多く用意されています。

仲間と意見を闘わせることで見えてくるものがある。
そこで生まれた新しい視点が世界を見る目を変えてくれた。

Interview

視野を広げ多様な価値観に 出会うことができたGLSと短期留学

高校時代は陸上競技に本格的に取り組んでおり、大学入学後も体育会の競走部で競技を続けることも考えていたのですが、もっと違う世界を見てみたいと思い、その道は選択しませんでした。そこで「何か面白そうな授業はないか」と探していた時に出会ったのがGLS(グローバルリーダーシップセミナー)です。1年生の授業は多人数の座学が中心ですが、GLSは少人数のセミナー形式で、先生と学生、学生同士が多様なテーマについてディスカッションを行うことが刺激的でした。前期の授業の中で最も印象に残っており、非常に楽しい時間でもありました。

GLSは週に2回開講されますが、1回は日本語の授業で、あるテーマについて先生から講義を受けます。残りの1回は半分の人で2クラスに分かれ、前の授業のテーマについて英語で討論を行います。国民性や文化、科学技術の研究、国語と言語教育、環境問題とメディアリテラシーなど、幅広い分野について新しい視点を見出せただけでなく、活発なディスカッションを通して仲間を得られたことも大きな収穫でした。

また、8月初旬から約1ヶ月間のケンブリッジ大学への短期留学も得難い経験となりました。前半2週間はさまざまなテーマについて授業を受けて英語に慣れる期間で、後半は専門分野に分かれての授業が行われます。本当に充実した1ヶ月間で、英語力の向上はもちろん、世界に対する視野をさらに広げることができたと思います。そこで出会ったテーマに触発されたこともあり、いまは認知科学や機械学習の分野に進みたいと考えています。

学門S 1年
北海道/道立札幌南高等学校 出身

適合型英語教育

学部1・2年

必修英語は少人数教育のもと、指定された時限に同時開講される10クラスの中から、学生が受講したいクラスを自律的に選択できる「クラス選択制」です。第1学年を対象に4月と学年末に英語統一テストを実施しますので、学生が各自の英語力に適したレベルを履修できます。このように学生の資質と個性に応じた語学力を身につけられる、きめ細かい英語教育を実現しています。



グローバルリーダーシップ セミナー (GLS)

学部1・2年

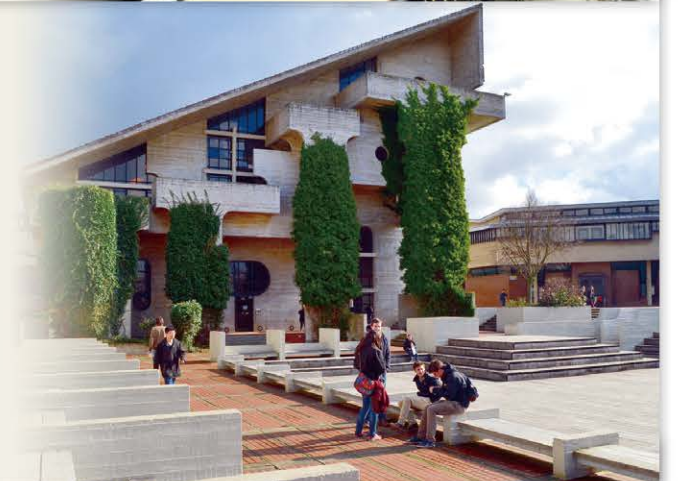
次世代のリーダーとして、国際的な場で求められる国際感覚、論理的思考力、討論力、言語力、自律性の必要性を肌で感じ、体得するプログラムです。英語そのものを学ぶのではなく、英語を使ってさまざまなテーマについて発表、討論、海外での実地研修を行います。参加学生の多様な価値観や異国の文化を理解することで、世界でリーダーシップをとれるような国際感覚を養います。関連科目として長期休暇中に開催される「グローバルリーダーシップセミナー(GLS)実地研修」があります。



留学プログラム

学部1・2・3・4年 大学院

気軽に参加できる短期の語学研修から派遣交換留学まで、世界約100校の協定校に留学できる、多彩なプログラムが用意されています。理工系学生に特化したプログラムも多く、外国語を使って理工学を学ぶことができます。また、4学期制のなかの春学期後半を利用して、海外サマースクールなどに参加できる学科もあり、単位取得ができた場合は慶應義塾の単位として認定される可能性があります。現地の文化に触れ、世界中から集まった学生と意見を交わすことで、国際感覚が磨かれます。



ダブルディグリー プログラム

学部3・4年 大学院

慶應義塾と協定校の合意のもとで準備された一連のカリキュラムを修了すると、両校から同時に修士の学位が取得できる制度です。「学部生向け大学院一貫プログラム」と「修士課程学生向け3年プログラム」があり、フランスのエコールサントラルやその他ヨーロッパ諸国の有力大学院で提供される正規カリキュラムを学びます。専門分野の学習と異なる文化圏への理解が深まる、高度なプログラムです。

